

隼人族の守護神

弥五郎どん祭り



今年も秋の風物詩「岩川八幡神社の弥五郎どん祭り」が11月3日、岩川八幡神社を中心に盛大に開催されました。

弥五郎どんは隼人族の酋長あるいは武内宿弥の化身とも言われています。昭和63年には、鹿児島県無形民俗文化財に指定され、民俗学的な価値も高く評価されており、毎年多くの観衆が訪れます。

当日は、午前1時の「弥五郎どんが起きつど」のふれ太鼓を合図に祭りがスタートしました。1年ぶりに目さめる弥五郎どんを一目見ようと、深夜にもかかわらず境内は多くの参拝客で賑わいました。

祭りのメインは、午後1時から「弥五郎どんの浜下り」。子どもたちに引かれた弥五郎どんが鳥居をくぐり登場すると、大勢の観衆から大歓声があがりました。

巨体を揺らしながら、悠々と市街地を練り歩く弥五郎どん。その姿は岩川の町に秋の訪れを告げていました。



美しい衣装に身をまとった稚児行列



市街地を練り歩く弥五郎どん



弥五郎どん祭り名物イナバウアー